

平成30年度学校運営方針

1 学校教育目標、今年度の重点目標

(1) 学校教育目標

散居の郷に輝く南部っ子を育てる ― 自立と協働 ―

(2) 重点目標

強く、やさしく、かしこい子供を育てる

(学び) 自分の考えをもち、学び合う子供

(心) 正しく判断し、友達を思いやる子供

(命) 目当てに向かい、励まし合って鍛える子供

2 学校運営の方針

自立と協働の心や態度を養い、一人ひとりが輝きながら、互いの心が響き合う学校を目指す。

(1) 個の学びと集団の学び合いを効果的に関わらせる学習指導の充実

- ① 考える時間を確保し個の学びを充実するとともに、ペア学習を中心とした学び合いを通して思考の深まりと学力向上を目指す。
- ② 指導のねらいを明確にし、目標達成に有効な指導方法や検証可能な評価の方法を工夫する。

(2) 自立的・協働的な活動を促す生徒指導、特別活動、道徳教育の推進

- ① 児童の学校生活の指針となる「南部っ子のたからもの」を日常的に意識させるとともに、実践化につなげる手立てを工夫する。
- ② チームによる積極的な生徒指導を展開し、児童の自己決定の場を増やすことによって自尊感情を高め、認め励まし合う心を育てる。

(3) 家庭、地域との連携と社会に開かれた教育課程の実現

- ① 公民館や地域の諸団体と連携しながら「ふるさと学習」を推進し、地域や社会の課題やニーズに向き合う教育課程の実現に努力する。
- ② 学校からの情報を積極的に公開・発信し、児童の意欲的に活動する姿を通して保護者や地域からの信頼を得ることができるよう努める。